

総務文教常任委員会

市総合計画策定のための市民アンケート調査費に議論集中

田沢湖再生と市全体の観光客増加に有機的結びつきを強めるための施設建設へ!!

一般会計補正予算

質問 次期(平成28年度～37年度)仙北市総合計画策定の方向性を定める市民アンケートならば、補正予算でなく来年度の当初予算までに、じっくりと質問項目を練り、来年度の当初予算で行うべきでないか。

答弁 次期総合計画作成の日程は、アンケート内容の精査、業者への入札、無作為に抽出した市民の方々への発送、回収、集計、分析を行い、それまで各部局で練っていた構想と摺り合わせを行い素案を議会へ提示、平成28年3月完成の予定。また、各部局とのヒアリングで行政判断だけでなく市民アンケートを取らなければならないものも多かった。さらに、庁舎整備に向けた市民説明会で、市民の方々から合併後の市政に対するアンケートの必要性を指摘された等々による年度途中の総合計画作成のためのアンケート予算となった。

◇意見を附して可決

市総合計画の策定は、今後の市の指針と発展を左右する重要な事業であり、その策定の基礎資料とするための市民意向のアンケート調査は、調査期間、収集、分析、市各部局計画との摺り合わせ等長期間を要する事業で、本来平成27年度の当初予算で措置しなければならなかったのに、今議会の補正予算に計上する等、市政に対する緊張感が欠如しており、今後このような事のないよう緊張感を持って職務に精励するよう注意喚起する。



空き家対策条例による解体前

一般会計補正予算(主なもの)可決

■市有林管理費(上桧木内部落会)	3,221千円
■総合計画策定費(アンケート調査費)	2,985千円
■危険空き家対策費(2棟分)	1,000千円
■一般教育総務費(参考書購入費)	8,197千円
■冬期スクールバス運行費(料金改定)	4,428千円

特別会計補正予算(主なもの)可決

■集中管理・職員給与費(減額)	14,298千円
■生保内財産区・分収林交付金(新農会)	1,037千円

仙北市過疎地域自立促進計画の変更について 可決

(広域中央斎場改築に伴う所在地変更)

市民バスの指定管理者の指定について

■中川線・下延八割線→「指定管理者」→「株式会社西宮家」	再認
■向生保内線→「指定管理者」→「ロイヤル交通」	可決

質問 ロイヤル交通の選定理由について

答弁 選定委員会からロイヤル交通の職員は運転のプロ集団で長年営業車を運転してきたキャリアがある方々で、人命を預かることを優先に考えると非常に信頼できる。また交通安全についても遵守していただける確信がもてるとの意見があったため。



解体後

市民福祉常任委員会

市立角館総合病院移転改築 入札不調により

12億2,600万円追加予算可決 工事費総額約73億円

市立角館総合病院の移転改築事業は、現在用地造成工事が進んでいるが、その一方で、病院建物の建築工事入札は平成26年9月1日に実施される予定であった。ところが、参加業者が全て入札を辞退し、その結果、入札が不調となり現在に至る。市でこの原因を調査したところによると、資材や人件費の急激な高騰により市が当初見積っていた金額と実勢価格の間に大幅な開きがあったことが分かった。市では実勢価格をもとに再度積算をした結果、当初の本体工事費約58億4,300万円に対し、更に12億2,600万円を追加し、本体工事費70億6,900万円とする補正予算案を12月定例会に提案した。外構工事費2億6,300万円と併せ全体の工事費は約73億円となる。市民福祉委員会では、予算が大きくかけ離れていた原因や、今後の病院経営に与える影響などについて議論が集中した。

角館病院建築 全体工事費 単位：千円

項目	当初の予算額	12月補正額	補正後額
本体工事	5,843,498	1,226,000	7,069,498
外構工事	263,082	0	263,082
合計	6,106,580	1,226,000	7,332,580

本体工事費内訳 単位：千円

項目	当初の予算額	12月補正額	補正後額	上昇率
建築工事	3,266,570	744,257	4,010,827	22.8%
電気設備工事	1,053,226	△13,170	1,040,056	△1.3%
空調設備工事	860,160	311,593	1,171,753	36.2%
給排水衛生設備工事	617,052	168,703	785,755	27.3%
外構工事	46,490	14,617	61,107	31.4%
工事費合計	5,843,498	1,226,000	7,069,498	21.0%

再入札は1月29日実施

角館病院の再入札は1月29日に前回の入札方法を一部変更して実施される。

主な変更内容

- 工期延長 16ヶ月⇒20ヶ月
- 予定価格は非公表
- 入札時 VE 提案方式を採用 ※1

予算アップで設計監理費用も増額

質問 建設工事が始まれば、設計業者が施工監理を行うと思われるが、建設費用が増額され、工期も延びることに伴い、設計監理費用も増額になるのか。

答弁 設計監理費については、以前より予定している4,117万円の範囲ですべて契約したい。今後、設計監理費用の増額は無い。



北浦環境センター

～今後の病院経営を問う～

質問 建設費の大幅な増額により、今後の病院経営は大丈夫か。

答弁 医療内容と信頼の向上、経費削減に努める。救急を死守するためにも、今回計画した病床数が必要であり、また、規模縮小は小児科や産婦人科などの必要性を阻害する。なんとしても、この町の医療を守るため、将来この病院が負の遺産ではなく市民の財産となるよう、不退転の覚悟で経営に臨む。

条例・補正予算 ～こんな内容を決めました～

- ◇塵芥処理費 6,220千円 角館最終処分場の計装機械の更新
- ◇ごみ処理場管理運営費 7,575千円 ごみ処理場の機械修繕と燃料費
- ◇国民健康保険特別会計 40,988千円
- ◇仙北市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について
- ◇仙北市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- ◇公の施設の指定管理者の指定について（田沢湖デイサービスセンター）

産業建設常任委員会

企業誘致の早期実現を ～工場用地の追加取得を反対多数で否決～

市では、青森県内で食品加工工場を営む企業を誘致するため、これまで約2億円の予算（土地買収・用地造成費）を投入し、生保内黒沢地内に工場用地（約27,600㎡）を取得し準備中であるが、この度、企業側から用地の追加を求められ、12月定例会に追加用地（4,000㎡）を取得する議案と、それに伴う土地造成予算（20,148千円）が提案された。産業建設常任委員会では、企業の進出が未だ決定的ではない段階での、更なる追加用地取得は認められないとの意見が大勢を占め、反対多数で否決された。

ここが知りたい議論のポイント

- 質問** 現地法人の設立はいつになるのか。
答弁 企業側の意向は造成工事完了後。市では早期の法人設立を求める。
- 質問** 用地不足は工場規模拡大などが要因とのことだが、具体的な工場配置図は。
答弁 企業側では追加分も含め造成工事が完了しなければ示すことはできないとの見解。
- 質問** 今後更なる用地の追加等はあるのか。
答弁 企業側からはこれ以上の要望は受けていない。今後は企業側での対応を求める。
- 質問** 廃水処理など環境への影響はないのか。
答弁 河川への排水放流については今後漁業組合と協議する。また、下水道への排水も求めている。

なぜ反対・なぜ賛成 ～委員会討論～

主な反対理由（反対4）

- ・地元の雇用創出のため誘致実現を求めるが、現段階で企業が必ず進出する担保がない。
- ・現地法人設立のスケジュールや、用地を追加取得するにも関わらず具体的な図面等が示されていない。
- ・内容に不確定な要素が多すぎる。
- ・用地の追加は進出が確定してからでも良いのでは。

主な賛成理由（賛成1）

- ・地域を元気にするため、追加用地を取得して企業誘致を早期に実現するべきである。



㈱司食品工業建設予定地



廃止となる木質バイオマス施設

補正予算 ～こんな内容を決めました～

- **米価下落対緊急支援事業費補助金** 11,825千円
H26年産米の「あきたこまち」以外の品種へ60キロあたり200円を補助
- **水稲種子購入緊急支援対策事業費補助金** 12,258千円
H27年度米の種子購入に対する補助金
- **木質バイオマス施設管理運営費** 20,966千円
木質バイオマス施設廃止に伴う電気工事費と、クリオン、にしき園の電気料
- **道路維持補修費 5,207千円**
冬期間終了後の道路補修費と真崎地下道の照明修理費
- **下水道事業特別会計補正予算** 213千円
- **集落排水事業特別会計補正予算** △2,000千円
- **浄化槽事業特別会計補正予算** △9,586千円
- **簡易水道事業特別会計補正予算** 137千円
- **温泉事業会計補正予算** 1,943千円